

北海道臨床教育学会 第3回大会の御案内

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のことと存じます。

さて、このたび、北海道臨床教育学会では、2013年7月13日(土)と14日(日)の2日間にわたって札幌サンプラザ(1日目)および札幌大学(2日目)を会場に第3回大会を開催いたします。会員の皆様に多数ご参加いただけますよう下記のように大会概要をご案内いたします。

- 1 主催 北海道臨床教育学会
- 2 期日 2013年(平成25年)7月13日(土)・14日(日)
- 3 会場 大会1日目 札幌サンプラザ 2階 金枝の間 (札幌市北区北24条西5丁目)
大会2日目 札幌大学 3102教室(3号館1階)ほか(札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号)

4 日程概要

※ この案内の最終面には、以下の概略よりも詳細な日程の一覧表を記載しております。

大会1日目 7月13日(土)

12:00	13:00	13:30	15:45	17:45	18:00	20:00
理事会		受付	シンポジウム		課題研究Ⅰ	懇親会

大会2日目 7月14日(日)

9:00	9:20	10:30	12:30	13:30	15:00	15:30	15:40	16:40
受付	自由研究発表 実践事例検討部門		現地企画	昼食 ※	課題研究Ⅱ	総会		自由研究発表 一般研究部門

※ 大会2日目の昼食については、食堂は営業していませんが、大学近隣にコンビニエンスストアや食堂などがいくつかありますので、各自でご利用ください。

6 大会参加費・懇親会費

(1) 大会参加費

※ 参加された最初の日に受付にてお支払いください。両日参加の場合は1日目だけで結構です。

- ① 正会員 2000 円（大学研究者・教職員一般社会人・学生院生 共通）
- ② 当日会員 2000 円（当日会員には学会紀要第2号の配布をいたしませんので、必要な方は大会受付または学会事務局に御相談の上で別途ご購入ください。）
- ③ ボランティアスタッフ 無料（詳しくはこのページ下部の募集記事をご覧ください。）

(2) 懇親会費

懇親会は大会1日目18時～20時に札幌サンプラザにて立食形式で計画しております。食材の事前調達の関連から開催 10 日前の参加人数報告が必要です。そこで、今回も前年と同様に、懇親会費の事前支払い制度を設けました。理事会としましては大会運営の計画を立てやすくなりますとともに、会員におかれましても当日の支払いに比べて割安となりますので、できるだけ郵便振込による事前の申し込みをお願いいたします。

- ① 事前の郵便振替での支払い 4000 円
- ② 当日の会場での現金支払い 5000 円

※ 事前申し込みをなさっていない方については、当日になって懇親会への参加を希望なさっても会場の定員の都合で入場いただけないことがあります。

※ 郵便振替口座記号番号は02730-0-69059、加入者名は北海道臨床教育学会です。番号等を印刷した払込取扱票を同封していますが、郵便局備え付けの用紙に手書きしていただいても構いません。

※ 郵便振込での申し込みの締め切りは7月2日（火）振込完了分までとします。その際、郵便振替手数料（窓口利用の場合120円、ATM利用の場合80円）は本人負担でお願いいたします。

※ 事前申し込みの振込をなさった方が懇親会を欠席されることとなった場合、7月9日（火）までに学会事務局へ欠席の旨の連絡をいただければ、後日返金いたします。それ以降の欠席連絡につきましては、返金をご容赦いただき、学会会計に繰り入れさせていただく場合がございます。

※ これから入会予定の方がありましたら、事務局から入会関連資料と併せて懇親会申し込み郵便振込用紙をお送りしますので、お早めにご連絡いただければ幸いです。

※ ボランティアスタッフについても、期日までに郵便振込での事前の申し込みがあれば、会員と同様に取り扱います。

7 ボランティアスタッフ募集

学生・院生をはじめ多くの方にとって学会に参加しやすくなる制度として、通常の会員・非会員（当日会員）の大会参加費の区分と並んでボランティアスタッフというかたちでの学会参加ができます。ボランティアスタッフには、大会までの準備や当日の運営あるいは片付け等を手伝っていただく代わりに、大会参加費の徴収を免除します。

つきましては、ボランティアスタッフを若干名募集します。ボランティアスタッフ希望者は、随時、学会事務局までご連絡ください。また、会員の皆様からお近くの方にもお知らせいただき、学会活動への参加の入り口としてボランティアスタッフ制度を活用していただければ幸いです。

（付記） 通常の大会参加費をお支払いいただける会員の方でも、大会運営をスタッフとして支援してい

ただける方がいらっしゃいましたら、事務局まで随時ご連絡いただければ幸いです。

8 会場までの交通手段

- (1) **札幌サンプラザ** (札幌市北区北24条西5丁目 電話011-758-3111)
地下鉄南北線「北24条駅」で下車し、1番出口から出て西へ200m(3分)ほど歩きます。
乗用車でお越しの場合、札幌サンプラザ内の立体駐車場に留めて2階のクロークで駐車券を示せば、
駐車した時間に関わらず、終日100円となります。



札幌サンプラザの交通案内 HP (アクセスマップ)

<https://www.s-sunplaza.or.jp/info/map.htm>

- (2) **札幌大学** (札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号)

◆公共交通機関のご案内

JR 札幌駅からのアクセス

▶地下鉄南北線「澄川駅」下車

- ・中央バス西岡環状線[澄73] (西岡3条先回り)、
下西岡線[南71]、西岡線[南81]、澄川白石線 [澄78] のいずれかで、「札大南門」下車 (乗車時間約6分)
- ・タクシーにて (乗車時間約10分/800円程度)

▶地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車

- ・中央バス澄川白石線[澄78]、または西岡月寒線[月82]で、「札大正門前」下車 (乗車時間約9分)

◆駐車場のご案内

自家用車で来られる場合は、学内の駐車場 (第3、第4駐車場) をご利用ください。なお台数には限りがございます。



内容詳細

開会行事 [大会一日目 7月13日(土) 13:30~13:35 (5分) 札幌サンプラザ]

会長あいさつ：庄井 良信 (北海道教育大学大学院・教授)

司会：畠山 貴代志 (札幌市立伏古小学校・校長)

シンポジウム [大会一日目 7月13日(土) 13:35~15:30 (115分) 札幌サンプラザ]

子どもたちの内面の苦悩によりそうこと

——いじめ「防止」を願う私たち大人が今、できることとは

大津市の中学生自殺事件をきっかけに、いじめ、自殺に関する社会的な反響が高まりました。大津では教育長が襲撃されることまで起こり、マスコミ等の問題もありますが、「いじめで子どもが自殺する」という痛ましいことは許されないという思いが根底にあることは間違いありません。札幌市でも3年続けて中学生の自殺事件が続き、どうすれば防げるのか、という探求が立場を超えてすすめられています。

いま、すすめられている「いじめ防止」の法制化の中では、いじめの禁止規定を設け、保護者には「いじめを行わないよう、規範意識を養うための指導その他必要な措置」を求めています。同時に、学校、教職員の責務という条文では、「道徳教育及び体験活動の充実その他必要な措置」をあげ、求める実践を道徳教育を体験活動に絞り込まれる危険を感じます。現場で心ある教師たちは、もっと多様で多彩な創造的な実践を展開しています。今回のシンポジウムでは、困難を抱えながらも、子どもと教師、子ども同士の関係を組みかえて学級づくりをすすめた実践の報告をもとに論議をすすめたいと思います。

コーディネーター：

井上 大樹 (北海道文教大学・講師)

パネリスト：

伏見 裕子 (不登校経験者・「みどりの仲間」元代表)

渡邊 衣恵 (札幌市小学校教諭)

橋本 尚典 (札幌市中学校教諭)

コメンテーター：

福井 雅英 (北海道文教大学・教授)

課題研究 I [大会一日目 7月13日(土) 15:45~17:45 (120分) 札幌サンプラザ]

臨床教育学の方法

本学会も3回目を迎え、臨床教育学の方法論の課題意識と実際的アプローチをどう考えるかは、深めるべき論点の一つになっているといつてよい。これは、学会紀要第2号においても連載を始めたばかりである。起点として本学会設立趣意書に立ち戻ってみると、「子ども理解を深め、子どもを支え合う新しい共同関係を探る」という課題を受け、「地域に生きる子どもや発達援助者たちの声の聴き取りと記録、一人ひとりの子どもの生活・生育史の事例的検討、具体的な教育・発達援助のエピソードにもとづくカンファレンス的な学び合い、教育者・発達援助者の生活史や実践史の吟味、日常的な教育・発達援助的实践への責任ある臨

床研究の地道な蓄積とその理論化など、多様な試みを実際に積み重ねていきたいと思ひます」とその具体的な方法と対象領域を取り上げている。

ここで挙げられているアプローチはそれぞれ多様であるが、そこを貫く臨床教育学の方法論的な理念・精神の共通性やそこで描かれる人間像はどのようなものとしてとらえられているのか、さらにはどのような時間・空間・出来事の関係性の網の目が意識されているのか、等々の論点がすぐさま浮かぶものであろう。そこで、今回は、児童心療における対人援助実践の事例も挙げていただきながら「声の聴き取りと記録」「援助のエピソードにもとづくカンファレンス的な学び合い」等の方法的含意を報告していただく。また、保育者養成機関での実践事例も含んで全国学会の議論動向も参照しながら、テーマにかんする本学会の到達点と課題についても報告していただき、会員のみなさんと深めていきたい。

コーディネーター・発題：

富田 充保 (札幌学院大学・教授)

報告者：

内田 雅志 (札幌市児童心療センター・セラピスト)

井上 大樹 (北海道文教大学・講師)

現地企画

[大会二日目 7月14日(日) 10:30~12:30 札幌大学 3102教室 (3号館1階)]

「学びの多様性」を保証する大学教育を目指して

——札幌大学における実践

臨床教育学の理念に照らし、大学教育という現場で一人の教師として学生一人ひとりの個に応じた学びを保証したい。育ってきた環境も学ぶ目的も皆違う、かけがえのない学生一人ひとりによりそった教育を実現したい。そのような考えのもと「一人ひとりの学びを保証し」「学生の多様性を受け入れる」ための教育実践を日々さまざまに試みているが、その思いが強ければ強いほど、目の前に立ちほだかる問題がある。社会へと出ていく「旅立ち」を目の前に控えて立ちすくむ学生が少なくない、現代における大学教育特有の数多くの問題点に気づいていながらも、日々そのジレンマを抱えながら学生と向き合っているという現実がある。

本企画では、札幌大学の中で「学生一人ひとりの多様性を踏まえ、授業に生かす」教育を目指しながら、それゆえにさまざまな葛藤を経験している大学教員が登壇し、それぞれの立場からの教育実践報告を通して、実践にまつわる現実的な困難や抱えている課題について語る。その上で、この厳しい教師の「現実」に対し、フロアーにいる参加者によるグループディスカッションを通じて、学生が求める教育のあり方について学生自身の生の声を受けとめることで、大学教育という現場において「学びの多様性」を保証し、「一人ひとりを生かす」教育を実現するための課題と方向性を探る。

司会：

荒木 奈美 (札幌大学・講師)

コーディネーター：

小笠原 はるの (札幌大学・教授)

第一部 大学教育の現場からの報告

① 青年期教育の立場から (本企画概要の説明) 荒木 奈美 (札幌大学・講師)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ② 留学生教育の立場から | 久野 弓枝 (札幌大学・准教授) |
| ③ リメディアル教育の立場から | 瀬戸 正 (札幌大学・特命教授) |
| ④ コミュニケーション教育の立場から | 小笠原 はるの (札幌大学・教授) |

第二部 参加者によるディスカッション (札幌大学で教育を受けている学生を含む)

課題研究 II [大会二日目 7月14日(日) 13:30~15:00 札幌大学 3102 教室 (3号館1階)]

子どもの生活世界から「学び」を問い直す

—臨床教育学からの提言

子どもや若者のかけがえのない人生(ライフ)の育ちに寄り添いつつ伴走していく援助者、ひとりで抱え込まずに多くの援助者と共にみずからも育ちつづける援助者、こうした援助者像や教師像の問い直しは、臨床教育学の重要な研究テーマである。

いま、このような問題意識を共有する援助者たちの中から、学校や地域における子どもの「学び」の問い直しが始まっている。今日、ひろく展開している「学力向上」のための諸施策は、子どもの生活や育ちをほんとうに豊かにしてくれるのだろうか。特別支援教育における学びの支援や学習支援サポーターの実践は、一人ひとりの子どもの生活や人生に寄り添い、それを意味深いものにできているのだろうか。東日本大震災の被災地の子どもたちの学びはどうだろうか。また被災地の子どもたちを支援する高校生たちの学びは、若者・援助者自身の学びをどのように成立させているのだろうか。

この課題研究では、これらの問いを具体的な実践事例に即して、危機を生きる子どもの側から、その子どもの生活世界の視点から、学びの成立を問い直し、より質の高い学びの支援・指導、さらには、授業の在り方について、参加者と共に学び合いたい。

コーディネーター、司会：

- 庄井 良信 (北海道教育大学大学院・教授)
 中根 照子 (釧路市立釧路小学校・教諭)

登壇者：

- 玉井 康之 (北海道教育大学釧路校・教授)
 大橋 毅士 (士別市立士別小学校・教諭)
 池田 考司 (奈井江商業高校・教諭)

コメンテーター：

- 守屋 淳 (北海道大学大学院・教授)

自由研究発表

実践事例研究部門

[大会二日目 7月14日(日) 9:20~10:20 札幌大学2号館2階]

※ 実践事例研究部門では、発表30分・質疑応答20分・コメンテーターからのコメント10分を時間配分の目安にしていますが、各分科会の参加者の要望に応じて司会の裁量で柔軟に変更を行います。

【第1分科会】 2号館2階 2204教室

司会 兼 コメンテーター：福井 雅英（北海道文教大学・教授）

発表：

谷 光（札幌「非行」と向き合う親たちの会・北海道子どもセンター相談員）
「『非行』と向き合う親たちの会の取り組み（仮）」

【第2分科会】 2号館2階 2205教室

司会：松永 美冬（当別町立西当別小学校・教諭）

コメンテーター：高橋 亜希子（北海道教育大学旭川校・准教授）

発表：

中山 晴生（江差町立南が丘小学校・教諭）
「子ども理解と学びづくりについての一考察——『自分をわかって!』という願いから出発する学びを試みる」

【第3分科会】 2号館2階 2206教室

司会：齋藤 知子（北海道教育大学大学院・修士生／元養護教諭）

コメンテーター：庄井 良信（北海道教育大学大学院・教授）

発表：

笹木 陽一（札幌市立屯田北中学校・教諭）
「不登校をめぐる認識の変化——中学三年男子生徒の事例を通じた、教師としての『自己物語』の変容に注目して」

【第4分科会】 2号館2階 2208教室

司会 兼 コメンテーター：内田 雅志（札幌市児童心療センター・セラピスト）

発表：

亀貝 一義（NPO 法人フリースクール札幌自由が丘学園・理事長）
「不登校の子どもが元気を取り戻すとき」

【第5分科会】 2号館2階 2213教室

司会：中根 照子（釧路市立釧路小学校・教諭）

コメンテーター：伊田 勝憲（北海道教育大学釧路校／大学院・准教授）

発表：

佐藤 美春（江別市立第二小学校・教諭）
「子どもの本当に出会う——聴きとり記すことの可能性」

自由研究発表**一般研究部門**

[大会二日目 7月15日(日) 15:40~16:40 札幌大学2号館2階]

※ 発表時間帯は、①15:40~16:10、②16:10~16:40 です。

※ 発表者一人につき、発表20分・質疑応答10分となっています。

【第1分科会：臨床教育における現象と分析】 2号館2階 2204教室

司会：

横井 敏郎（北海道大学・准教授）

池田 考司（奈井江商業高校・教諭）

発表：

① 尾崎 寛幸（札幌大学大学院・院生）

「Twitter(SNS)による若者の新しいコミュニケーション」

② 宮原 順寛（北海道教育大学大学院・准教授）

「M. ヴァン＝マーネンの現象学的教育学における事例検討による思慮深さの養成」

【第2分科会：教職専門性の形成と臨床教育】 2号館2階 2208教室

司会：

黒谷 和志（北海道教育大学旭川校・准教授）

畠山 貴代志（札幌市立伏古小学校・校長）

発表：

① 宮井 真由（北海道大学大学院・院生／元小学校教員）

「教職困難性の構造についての試論」

② 岡崎 仁美（北海道教育大学大学院・院生）

「教職志望大学生における自他への感情の検討——不登校等の経験による違いに着目して(仮)」

【第3分科会：保育職専門性の形成と臨床教育】 2号館2階 2213教室

司会：

伊藤 克実（大谷地たかだ保育園・園長）

富田 充保（札幌学院大学・教授）

発表：

① 田澤 利弘（北海道学童保育連絡協議会・事務局長）

「学童保育指導員に求められる専門性についての実践的検討——資格化との関連で」

② 井上 大樹（北海道文教大学・講師）

「保育者養成における青年期の自己形成の現代的課題」

事務局からのお知らせ

第3回定期総会のご案内

学会大会2日目の7月14日(日)15時から開催されます第3回定期総会においては、会則改正、決算案、予算案、その他に関する審議を予定しております。会員のみなさまにおかれましては、定期総会にご参加いただきますようご案内いたします。

会則改正に関わっては、会費値上げを理事会より提案する予定です。紀要やホームページの充実などに伴い学会の支出が増加しております。事務費の削減などに取り組んでいますが、活動の充実はそれを上回る勢いです。会員の皆さまには出費多端な折にご迷惑をお掛けいたしますが、第3会計年度(2013年6月1日～2014年5月31日)から各区分のそれぞれについて1000円を増額する会則改正案を検討しております。なお、収支の釣り合いを図り完全な黒字化をするためには2000円程度の増額が望ましいのですが、今回は激変緩和措置として、また、この間にさらなる経営努力を行いその効果を見極めるために、1000円の増額を提案するものです。

このほか、会長の選出方法を理事の互選と明記するほか、事務局長・事務局次長・事務局幹事を理事会承認人事とするなど、役員および事務局スタッフの位置づけや選出方法に関する会則に関わるいくつかの整理と修正を予定しております。詳細は大会時に配布する総会資料に譲ります。

なお、総会に会員総数の過半数の参加がない場合には、仮総会となり、会員に郵送で公示の上で異議申し立てを受け付ける期間を設けることとなります。

会費納入について

上記に記しましたように、7月の定期総会にて年会費の値上げを提案いたします。そのため、第3会計年度(2013年6月1日～2014年5月31日)の会費については、定期総会后(定期総会が仮総会となった場合には、会員への公示と異議申し期間終了後)に請求を行いたいと思います。それまでの間は、既に第2会計年度(2012年6月1日～2013年5月31日)の会費をお納めいただいた方については、会費納入を見合わせていただければ幸いです。

住所変更・所属変更等の連絡のお願い

異動その他でご住所やご所属等の変更があった方は、随時、学会事務局までご連絡いただければ幸いです。なお、理事会における部会編成などの際に、会員の所属や専門領域等の情報を利用いたしております。入会時に名簿の情報公開を掲載不可となさっている方についても、情報の更新については随時お願いいたします。

問い合わせ先・連絡先(学会事務局)

郵便番号 002-8502

郵送先 札幌市北区あいの里5条3丁目 北海道教育大学 宮原順寛研究室気付

北海道臨床教育学会 事務局 宛

電話番号(ファクシミリ共通) 011-778-0442 (研究室直通)

電子メール miyahara.norihito@s.hokkyodai.ac.jp

北海道臨床教育学会 第3回大会 プログラム

大会1日目：7月13日(土) 会場：札幌サンプラザ (札幌市北区北24条西5丁目)

時間帯	内容	部会テーマ等
13時00分～	受付	
13時30分～ 13時35分	開会あいさつ	庄井良信 (会長・北海道教育大学大学院教授)
13時35分～ 15時30分	シンポジウム	子どもたちの内面の苦悩によりそうこと —— いじめ「防止」を願う私たち大人が今、できることとは
15時45分～ 17時45分	課題研究 I	臨床教育学の方法
18時00分～ 20時00分	懇親会	(札幌サンプラザ内の洋式会場にて) ※事前申込による懇親会の割引料金の適用があります。

大会2日目：7月14日(日) 会場：札幌大学 (札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号)

時間帯	内容	部会テーマ等
9時00分～	受付	
9時20分～ 10時20分	自由研究発表 (5分科会)	実践事例研究部門 (事例報告30分; 質疑応答20分; 指定討論者コメント10分)
10時30分～ 12時30分	現地企画	「学びの多様性」を保証する大学教育を目指して ——札幌大学における実践
12時30分～13時30分	昼休憩	
13時30分～ 15時00分	課題研究 II	子どもの生活世界から「学び」を問い直す ——臨床教育学からの提言
15時00分～ 15時30分	第3回 定期総会	会則改正、決算案、予算案 ほか
15時40分～ 16時40分	自由研究発表 (3分科会)	一般研究部門 (発表20分; 質疑応答10分)